

キャラクター名  プレイヤー名

メインクラス	ウォーリア	Lv.1:		レベル	7
サポートクラス	グラディエーター	Lv.1:	グラディエーター	性別	女の子
称号クラス				年齢	15
種族	ヴァーナ			境遇	義理の親
出自 (効果)	狩人			目標	逃亡

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	15	7	21	6	13	17	8
ボーナス	5	2	7	2	4	5	2
クラス修正	1	2	1	0	0	1	1
他修正							
能力値	6	4	8	2	4	6	3

HP	83
MP	68
フェイト	5

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	ラウールの剣	至近	0	10	0	0	0	-1	0
左手	ハードシールド		0	0	0	8	0	-1	0
頭部									
胴部									
補助	ラウールの補助鎧				-1	5			
装身具	ラウールのグリップ								
能力値			4	0	8	0	6	12	11
スキル	カバームーブ/カバーリング/チャンピオン/ターゲットオン		+1D	21	4	30	13		
その他	ラウール			5					
総計(右)			4	36					
総計(左)			4	26	11	43	19	10	11
総計(両)									m
ダイス数			3 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	4			4	+ 2 d
トラップ解除	4			4	+ 2 d
危険感知	4			4	+ 2 d
エネミー識別	2			2	+ 2 d
アイテム鑑定	2			2	+ 2 d
魔術判定	2			2	+ d
呪歌判定					+ d
錬金術判定					+ d

所持品	
冒険者セット	
MPP 4	
HHPP*3	
バックパック	
売却/使用分	

現在重量:	12	所持金:	61	預金・借金:	
最大重量:	20				

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ハイジャンプ	★	-	move	-	自身	-		
効果: 兎族、ムーブアクションでエンゲージを離脱しても、マイナーアクションを行うことができる								
カバームーブ	2	4	加`リング`	-	自身	自動	シーンSL	
効果: 加`リング`至近→射程20m								
カバーリング	★	2	DRb	至近	単体	自動		
効果: 行動済でもカバーを行なうことができ、未行動時にカバーを行なっても行動済にならない行動済でもカバーを行なうことができ、未行動時にカバーを行なっても行動済にならない								
チャンピオン	★	-	アイテム	-	自身	-		
効果: チャンピオンベルト: 戦闘不能になっていないとき、精神判定+1D/シナリオ終了まで戦闘不能にならないとき所持金CL*500								
ターゲットオン	3	5	Set	視界	単体	自動		
効果: ダメージ+SL*3								
ターゲットチェンジ	★	3	効果参照	-	自身	自動		
効果: ターゲットオンの対象が戦闘不能時即座にほかのキャラにターゲットオンを使用できる								
AM:長剣	★	-	P	-	自身	-		
効果: 長剣の命中+1D								
バトルセンス	★	3	m	-	自身	自動		
効果: BSを回復、以降そのBSはシーン中受けない								
サバイブ	5	-	P	-	自身	-	頭/胴×	
効果: 物防SL*2+5 魔防SL								
アンブレイカブルボディ	★	-	P	-	自身	-	頭/胴×	
効果: 物防CL(7) 魔防CL(7)								
テクニカルガード	★	-	P	-	自身	-	頭/胴×	
効果: 盾に物防+CL(7)								
フットワーク	3	-	P	-	自身	-	頭/胴×	
効果: 回避判定+SL+1 白兵攻撃+SL*3								
ボルテクスアタック	1	-	効果参照	単体※	自身	自動	シリア1	
効果: 武器攻撃と同時、ダメージ+CL*10								
バッシュ	1	4	M		単体	命中		
効果: ダメージ+SLD								
バーサーク	1	3	m		自身	自動		
効果: ダメージ+SL*3/リアクション-1D								

CL1: ウォーリア: カバームーブ2、加`リング`★/グラディエーター: サバイブ2  
 妖魔の砦: ブルクハルト、スタン、イザークと。  
 カナンの森の侵略者: ウサーミ、アコ、ノキと。  
 Second Adventure: ブルクハルト、スタン、イザークと。  
 CL2でリビルド  
 CL5でリビルド

ラビィは幼い頃から周りが不思議でならなかった。弓の練習ばかりをさせてくるからだ。親にはない赤色の目も白い髪も不思議だった。友達は「突然変異かな?」とか、「親が狩人ってエリートだねー」とか言ってくれたけど、正直よくわからない。そんなことよりもラビィは街のハズレに住むヒューリンの男が好きだった。「君には才能がある、力の使い方を教えてあげよう」男はそういった。力をつければいるんな人を守れるようになるんだって。ラビィは人の目を盗んでたくさん練習した。そんなある日父に見つかった。そして悲しそうな目をした父が「いつかこれを告げる日が来るとはわかっていたが、苦しいな。ラビィ、お前のことを愛しているよ」その日、ラビィは初めて許された気分で、夜空の下を歩いていた。ここはラビィの本当の居場所ではない。ラビィは剣が振りたいた。そしてラビィは相棒のチユースケ(鳥)と故郷を去った。

妖魔の砦編(ネタバレ)  
 困っている女の子がいた。なんかよくわからないが敵を倒して砦を取り戻してほしいみたい。剣で敵を倒すのか! わかったぞー!(剣をブンブン)砦についた。なんだか暗くていかに冒険っぽい。  
 目の前に人がいたから話しかけたら敵だった。後でブルクハルトとかに怒られた。反省。宝箱があったから開けたら異があった。いたた…次からはイザークに任せよう。人の仕事を取るのはい悪いことだ。

